西胆振地域連携研修･法人内研修　実施報告書

研修名	介護技術検討研修

対象者	介護職員
日　程	令和 5 年 10 月 24 日（火）
会　場	ふる里の丘総合福祉館

研修のねらい

介護現場で働く方の中には「もっと介護技術を向上させたい」と思っている人もいるでしょう。介護技術を高めると利用者一人ひとりの支援に要する時間が短くなる、サービスの幅が広がり質が高まる、利用者の満足度が高くなる等のメリットがたくさんあります。しかし、どのように介護技術を向上させればいいのか・・・と悩むと思います。今回の研修では、各事業所より持参いただいた事例（不安や負担、困難に感じている介護技術）特に身体介助（ベッド上での動作支援や車椅子等への移乗支援）について、参加者同士意見交換し合い、また講師より実技演習を通しながらアドバイス等を受け、さらに介護技術のスキルアップを図ります。

研修プログラム

時　間	研修科目	講義形式	講師	研修内容
14:00 ～16:30 （150 分）	介護技術向上	講義 演習	大原の杜２０１６） 介護福祉士 実務者研修指導者 藤井ユニット主任	事例検討・実技演習を通して、基礎的な介護技術のポイントを確認し、参加者それぞれの学びたい状況・場面に応じて、より良い介護方法についてアドバイス等をもらい、職員の介護技術向上を目指します。

研修の様子

各施設・事業所の介護職員７名が参加。参加者が日頃のケアにおいて困っている介護技術（主に身体介助）について各自事前に資料を作成し持参した。実務者研修指導者から、より良い介助方法についてアドバイスをいただき、実際に実技を通して理解を深めていた。参加した職員からは「介護の基礎的な部分を忘れていたので、重要なポイントを教えていただき再確認の機会になった」「困っていることを持ち寄って研修を受講する、実技を通すことで理解度が高まる」「次の勤務時からすぐに改善・修正していく」など、研修受講後に活かすことができる大変充実した研修となった。